

# 兼六園の雪吊りについて

特別名勝「兼六園」では、雪害から樹木を守るため毎年雪吊りを実施しています。この雪吊りは、北陸の冬の風物詩となっており、今年も下記のとおり実施します。

## 記

1 作業開始日時 11月1日(月) 午前9時から

2 作業開始樹木

からさきのまつ  
「唐崎松」

園内随一の枝ぶりを誇るこの松は、5本の芯柱が立てられ、総数約800本の縄で枝を吊ります。

なお、当日雨天の場合は、樹高の低い木から作業を開始します。

その場合、唐崎松の雪吊りは11月2日(火)8時を予定(雨天順延有)しています。

3 兼六園雪吊りの概要

(1)種類と本数

- ・リンゴ吊り 54本 (唐崎松、巣籠り松ほか)
- ・幹吊り 60本 (根上松、播州松ほか)
- ・その他 約700箇所 (ツツジほか)

(2)使用材料等

- ・わら縄 約4,000kg(径6mm及び8mmの2種類を使用)
- ・芯柱 アテ丸太、真竹

(3)延べ作業人数

約500人  
11月1日(庭師6名、造園業者6名)

(4)作業終了時期

12月中旬(予定)